

平成23年調査結果の概要

● 出生数は増加

出生数は46,220人で、前年の46,818人より598人減少し、出生率（人口千対）は9.2（前年9.3）であった。

合計特殊出生率は1.42で、前年の1.44を0.02下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は48,112人で、前年の46,996人より1116人増加し、死亡率（人口千対）は9.5（前年9.3）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳血管疾患だった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物30.7%、心疾患11.8%、肺炎10.9%で、以下脳血管疾患9.1%、不慮の事故3.6%と続いている。

● 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-1,892人で、前年の-178人より1,714人減少し、自然増減率は-0.4で、前年の-0.0を0.4下回った。

● 死産数は増加

死産数は1,314胎で、前年の1,366胎より52胎減少し、死産率〔出産（出生＋死産）千対〕は27.6で、前年の28.3を0.7下回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は28,008件で、前年の29,247件より1,239件減少し、婚姻率（人口千対）は5.6で、前年の5.8を0.2下回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は10,653件で、前年の10,952件より299件減少し、離婚率は2.11で、前年の2.18を0.07下回った。